

# 琉球大学「津梁と創造の科学人材育成プログラム」

## ●育成したい人材像

- ・ 5つの力を備えた国際的に活躍できる未来の科学技術者  
【5つの力】「旺盛な探究心」「科学的問題解決力」「研究実践力」「豊かなコミュニケーション力」「自己学習力」

## ●背景（問題意識）

- ・ 高校生が、自分で研究に取り組むために必要な知識や技能に関して学ぶ教育プログラムと能力評価システムが未確立
- ・ 潜在的な科学的才能の開花を支援する機会の不足
- ・ 科学教育リソースを有する機関連携が希薄
- ・ 大学のリソースを活用した早期研究者教育が不十分

## ●企画の主な特徴

### 地域特性を活かした国際科学人材の育成プログラム

- ・ 海洋科学や亜熱帯生物学など地域特性を活かした研究、教育の実施
- ・ 突出した能力を有する生徒にも対応した、体系的な教育プログラムと評価方法の開発
- ・ 早期からの国際的視点の形成
- ・ 県教委、民間非営利団体等とのコンソーシアム構築と、これを活用した人材育成成果の把握と教育手法の普及
- ・ 大学独自で実施する科学教育プログラムとの連携

## ●企画の主体組織

国立大学法人琉球大学

## ●連携機関

一般財団法人沖縄美ら島財団、沖縄県教育委員会

## ●企画の最終目標

- ・ 高い意欲、能力を持つ理工系人材の輩出
- ・ 効果的な科学教育方法の確立とその普及
- ・ 産官学による科学教育コンソーシアムの構築と継続的運営

